

【主催者挨拶】

公益財団法人埼玉県ひとり親福祉連合会

会長 是枝くみ子

一昨年から新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、早くも3年が経過しております。私共は、当初令和3年度主催ということで準備してまいりました。しかしながら1年間の延期となり、様々な経過を経て、この度第75回関東地区母子寡婦福祉研修大会は誌面開催という形で開催させて頂くことになりました。

この開催にあたりましては、一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会様をはじめ関係者の皆様から多大なご協力を賜りまして、心から御礼申し上げます。この場をおかりしまして、改めて感謝いたします。

さて、私共埼玉県ひとり親福祉連合会の前身は、昭和24年に戦争未亡人を中心に母子家庭や寡婦が互いに助け合うために結成された「埼玉県未亡人連盟」に遡ります。それから、73年の歳月が過ぎ、現在に至っています。幾多の変遷を重ねながらも私共が続いてまいりましたのは、ひとえにひとり親の皆様の自助、共助の精神、行政や企業などの支援による公助、そして社会の皆様からの温かい支援のたまものと考えております。

そして、全国また関東地区における各母子寡婦福祉会も同じようにひとり親

家庭の当事者団体であり、長い歴史の中で培ってきたことがあるかと存じます。

こういったことを粘り強く後世に伝え、次世代を担う子どもたちのために声を掛け合い、自助、共助、公助の精神で、負の連鎖を断ち切るよう活動することが肝要かと思えます。

そのためには、私共も含め会の活性化が喫緊の課題であり、若い会員の皆様が働きながら活動できる組織づくりをしなければなりません。寡婦の皆様にご協力頂きながら、若い会員の皆様に活動を繋げ、担っていく後継者たちが安心して仲間づくりができる会となるよう取り組むことが求められています。

社会的に厳しさが増す状況下だからこそ、同じ境遇であるひとり親同志が、共助の気持ちを忘れずに助け合い、励まし合いましょう。コロナ禍により会の活動が控えめになりがちですが、皆様の活動が工夫をされながら活性化することを願っています。

最後に、令和5年度こそは新型コロナウイルスが終息し、晴れて皆様とお会いできることを心から願ひまして、開催の挨拶とさせていただきます。